

# あなたのクラスでやってみませんか！ ユニセフの**開発のための教育**

## さまざまな権利の結びつき

**目的** 「子どもの権利条約」を子どもたちにわかりやすく紹介する。

条約を素材に、正義に関わるさまざまな問題がつながりあっていることを理解し、ある権利が否定された場合、どのような結果が生じるかを考える。

**所要時間のめやす** 60分

**人数** 8グループ(1グループのめやす3人)

**用意するもの** 「子どもの権利条約」の条文の要約シートをグループに1枚、「世界中からやってきた子どもたち」のカードを1セット、模造紙、色の異なる毛糸玉と同色のフェルトペン(8色) 足の長い押しピン

**すすめかた**

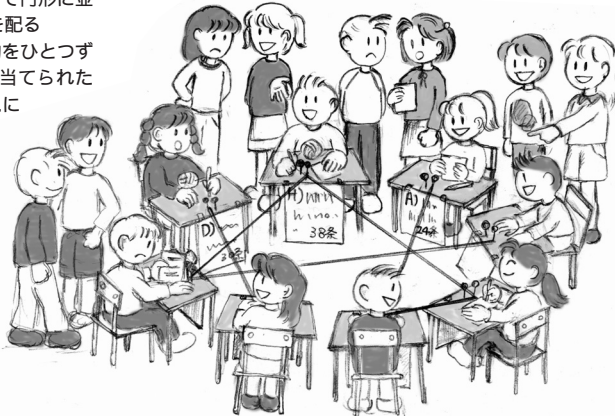
8つの机をイラストのように間を取って円形に並べ、各グループに条文の要約シートを配る。各グループにA～Hまでの条文の要約をひとつずつ割り当てる。各グループは、割り当てられた文を模造紙に大きく書き写し、各机にはりだす。

グループのひとりが机に残り、他のメンバーは、他のグループの権利の要約を見てまわる。自分のグループの条文と何らかの関係があると思ったら、そのグループの机に残っている人と話し合い、合意したら、自分の机から毛糸をひっぱってきて互いの机を結ぶ。机に残っている人はその合意した内容をメモしておく。

考えられるすべての結びつき作業ができれば、各グループごとの関係を発表し、机の中にできている毛糸のクモの巣の状況について確認する「世界中からやってきた子どもたち」カードを各グループに1枚ずつ配り、それぞれ読み上げる読みあげられたカードの状況でもっとも侵害されていると思われる8つ権利のうちのどれかを全員で話し合う。もっとも侵害されているとされた権利の条文と毛糸でつながっているグループのうち、読み上げられたカードの状況でその権利にも影響が及ぶ

### 【権利と権利の関係の例】

休み、遊びの権利(第31条)を拒絶された子どもは、心やからだのすこやかな成長に必要な生活をする権利(第27条)や健康・医療への権利(第24条)が守られないかもしれません。自分たちの言葉を使う権利を否定された少数民族の子ども(第30条)は教育を受ける権利(第28条)を妨げられたり、社会的弱者として経済的な搾取(第32条)の対象になりやすいかもしれません。想像力を働かせ、いろいろな状況を考えてみてください。



と思われる場合、つながっていた毛糸を断ち切る。すべてのグループがカードを読み終え、作業を終えた時、毛糸のクモの巣がどのように変化したかを確認し、活動を振り返る。

### 条文要約シート

「子どもの権利条約」にはすべての子どもはつぎの権利をもつと書かれています

#### 条文の要約

- A) 健康に暮らし、けがや病気の時には治療を受ける権利 (第24条)
- B) 心やからだのすこやかな成長に必要な生活を送る権利 (第27条)
- C) 教育を受ける権利 (第28条)
- D) 少数民族や先住民族の子どもが、民族の文化・宗教・言葉を尊重する権利 (第30条)
- E) 休み、遊び、文化・芸術活動に参加する権利 (第31条)
- F) 心やからだによくない仕事から守られる権利 (第32条)
- G) 麻薬・覚せい剤などから守られる権利 (第33条)
- H) 戦争から守られる権利 (第38条)

## 「世界中からやってきた子どもたち」カード

**1** わたしたちの家族は保健センターから遠いところに住んでいるので、予防接種を受けたことがありません。わたしは6歳ですが、はしかにかかってしまいました。



**2** わたしは8歳です。お兄さんと弟は学校へ行っていますが、両親はひとり娘のわたしには家の手伝いをするほうが大切だと言います。学校へ通わせてもらえません。



**3** ぼくは14歳。去年から街で働きながら仲間たちと暮らすようになりました。街で会った男の人が麻薬を売る手伝いをすればお金がかせげると誘うので、手伝いははじめました。



**4** わたしは10歳。わたしたち家族9人が使う水は、3キロはなれた池からわたしと8歳の妹とふたりで運んできます。1日に3回は池まで往復しなければなりません。



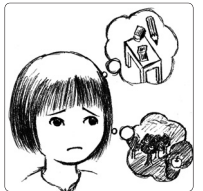
**5** ぼくは13歳。ぼくの国では戦争がはじまって10年以上になります。お父さんはずっと前にゲリラに連れて行かれ、もどってきません。軍隊の人がやって来て、ぼくも大きくなったのだから軍隊に入らせて働こうと言いました。



**6** ぼくは12歳。ぼくの学校ではぼくたちの地域で昔から使われている言葉を使う先生はいません。だから、学校ではぼくたちの言葉は禁止されていて、ちがう言葉で授業を受けています。授業の内容はあまりわかりません。



**7** わたしは13歳。この夏休みに農園で果物の収穫の仕事をはじめました。農園主は、中学校に進まずに毎日いたらきにくれば家族の生活を楽にできるよと言います。家族は何も言いませんが、わたしはなやんでいます。



**8** ぼくは10歳。8歳の頃から織物工場で毎日朝から晩まで働いています。家には1年に1回だけしか帰れません。座ったまま背中をかかめて仕事をするので、からだ中が痛くなってしまいます。

